

【薬局向け】活用例

過去の薬剤情報を見ることが重複投薬を回避した事例

情報提供元：かもめ薬局下高井戸駅前店 / 東京都

年齢 60歳代

性別 男性

診療科 耳鼻科

介入項目 薬剤削除

事例概要

改善要因 過去の薬剤情報を確認

概要

- お薬手帳持参なし、患者アンケートと口頭確認にて複数診療科を受診・多剤服用中と判明した初来局の患者の事例。耳鼻科にてモンテルカストNa（LT受容体拮抗薬）とモメタゾンフランカルボン酸エステル水和物点鼻液を処方されていた。
- 患者がマイナンバーカードを持参していたため、同意を得て過去の薬剤情報を見ることができ、現在服用中の薬が10種類あり、抗アレルギー薬はエピナスチン塩酸塩に加えبرانルカスト水和物（LT受容体拮抗薬）を内服していることがわかった。
- 確認したところ、患者はエピナスチン塩酸塩のみをアレルギー薬と認識していたため、医師に同効薬であるبرانルカスト水和物を服用中であることを伝えていなかったことがわかった。
- 同効薬の重複となるため、処方医に疑義照会し、モンテルカストNaは削除となった。

マイナンバーカードを活用した過去情報閲覧により、類似薬効の重複投薬を回避し、
類似薬効の重複投薬を回避することができた。